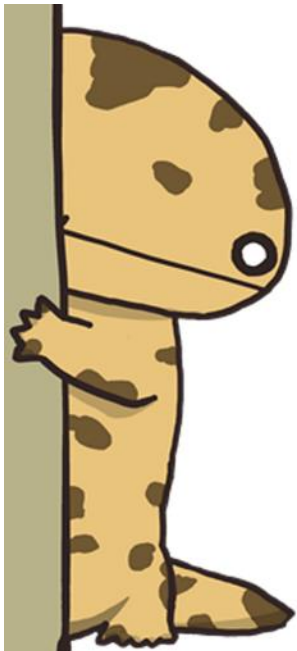




地域と大学が連携した広島県湯来町における オオサンショウウオの基礎生態調査と 環境保全活動2022

- 中西 健介 (広島大学理学部3年, 広島大学CSR)
- 池内 明香 (広島大学理学部4年, 広島大学CSR)
- 谷 聖太郎 (広島大学統合生命科学研究科博士後期2年)
- 佐藤 亮太 (NPO 法人湯来観光地域づくり公社)
- 桑原 一司 (日本オオサンショウウオの会)
- 田口 勇輝 (日本オオサンショウウオの会)
- 池田 誠慈 (広島大学総合博物館)
- 三浦 郁夫 (広島大学両生類研究センター)
- 清水 則雄 (広島大学総合博物館)



湯来町とオオサンショウウオ

湯来町



く芋，農林水産省

京都水族館Twitterより



提 案（課題）

- NPO 法人湯来観光地域づくり公社（広島市佐伯区湯来町）

理事長 佐藤亮太 さん

○地域の資源を活かした観光振興と地域振興 事業

○地域社会における歴史文化の継承、自然環境の保全

「オサンショウウオこんにゃく」が大人気！Twitter でも複数回に渡って15 万以上の「いいね！」

- しかし、目撃情報は毎年あるものの、調査記録はなく
実態が不明、保全計画もない

- 過疎化の進行：人口が毎年100-150人減

→観光と環境保全の両面から持続可能なモデル



実態把握：学術的な分布・個体数調査



大学を核とした協働体制の確立&野外調査

プロジェクトの体制

- 参加4団体

NPO 法人湯来観光地域づくり公社

地域住民

広島大学総合博物館

学生団体CSR・オオサンショウウオ調査班
(キャンパススチューデントレンジャー)

- 協力

日本オオサンショウウオの会 桑原一司 氏

田口勇輝 氏

広島市教育委員会 (許認可)

広島大学両生類研究センター 三浦研究室



調査地

広島
水門

吉和

R48



夜間，川を歩いて探す。



調査内容

発見・捕獲したら..

- ◆ 全長・体重の計測
- ◆ マイクロチップの確認（挿入）
- ◆ 怪我の有無の確認
- ◆ 総排泄孔の確認
- ◆ DNA解析用の組織を採取



現地聞き取りの結果

※桑原・田口の過去の聞き取り及び事前調査



5km

昨年度の現地調査

2021年9月-11月に4回の野外調査を実施（昼1回 夜3回）
最小 16cmの幼体，最大 107cmの成体の13頭を確認

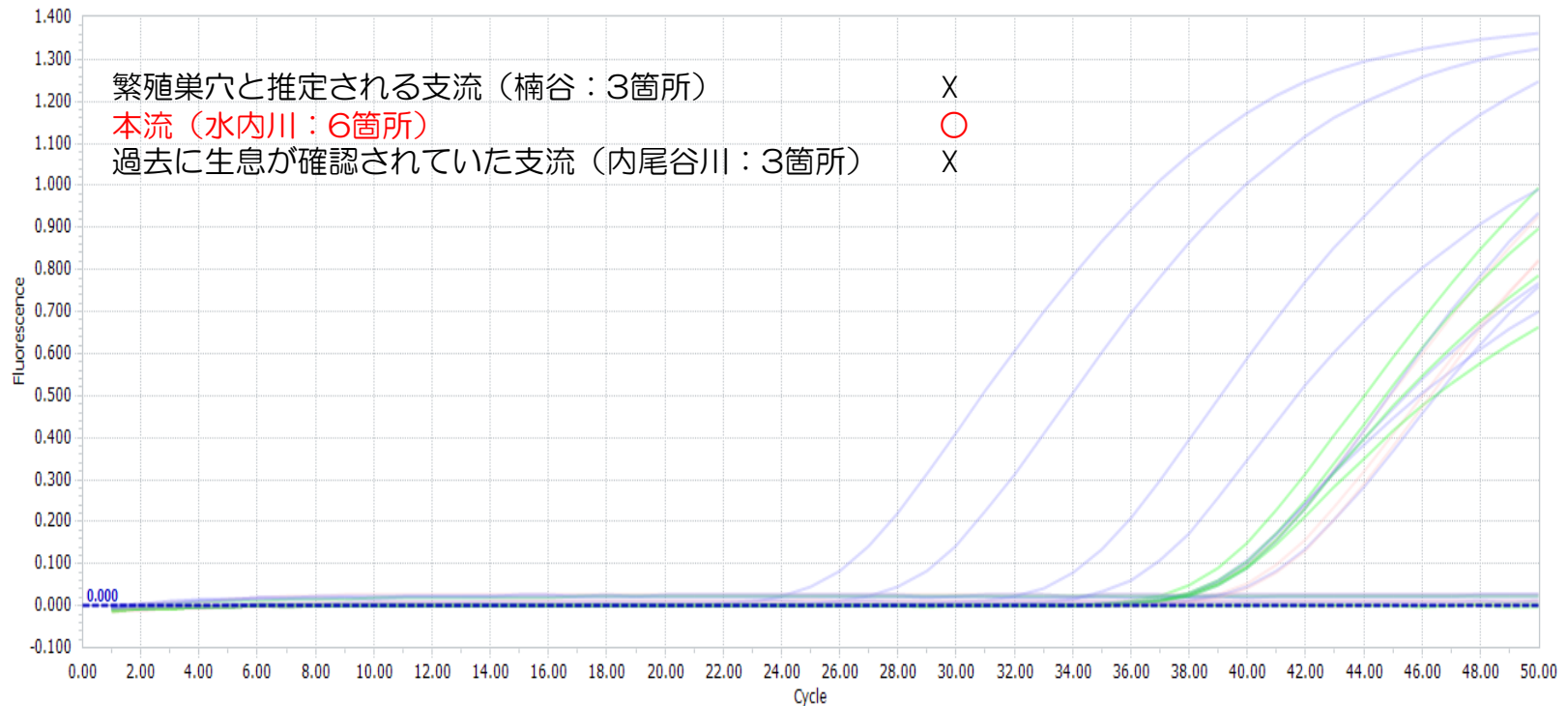


平均全長 **64.0cm**（最小16cm-最大107cm, N=13 ※再捕獲は1個体）
平均体重 **2.55kg**（最小0.30kg-最大7.45cm, N=12 ※幼生は未計測）
平均肥満度 **6.65**（最小4.80-最大8.64, N=12）

環境DNA調査

日時：2021年11月25日 9時-12時

場所：本流（水内川），支流内尾谷川，繁殖巣穴想定地楠谷
12箇所の採水



ほぼ、踏査結果や聞き取りと同様の結果



本年度の調査

22年7月以降に8回の野外調査を実施

湯来ロッジ周辺から上・下流側に調査範囲を拡大

本流および繁殖が想定される支流で環境DNA調査を実施

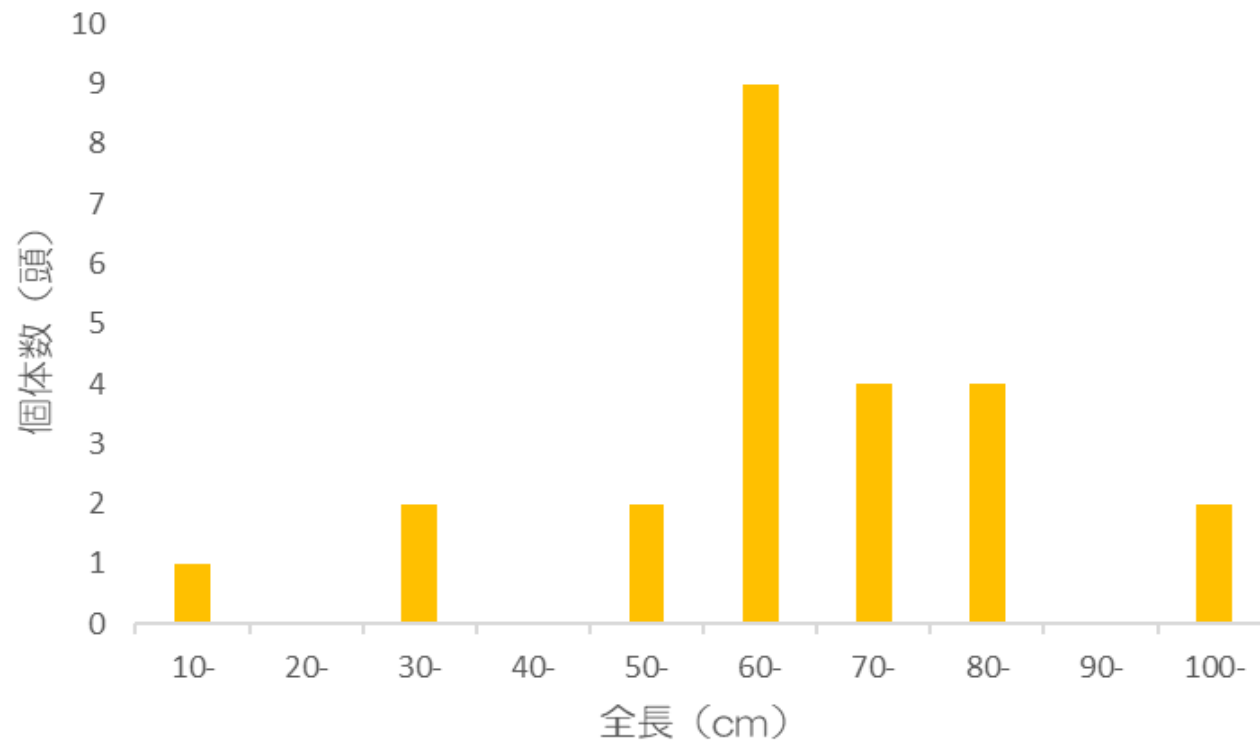
幼生調査を実施



本年度の調査

11頭（うち再捕獲5頭）を確認

前年度と合わせて25頭を確認



バランスの良い健全な個体群

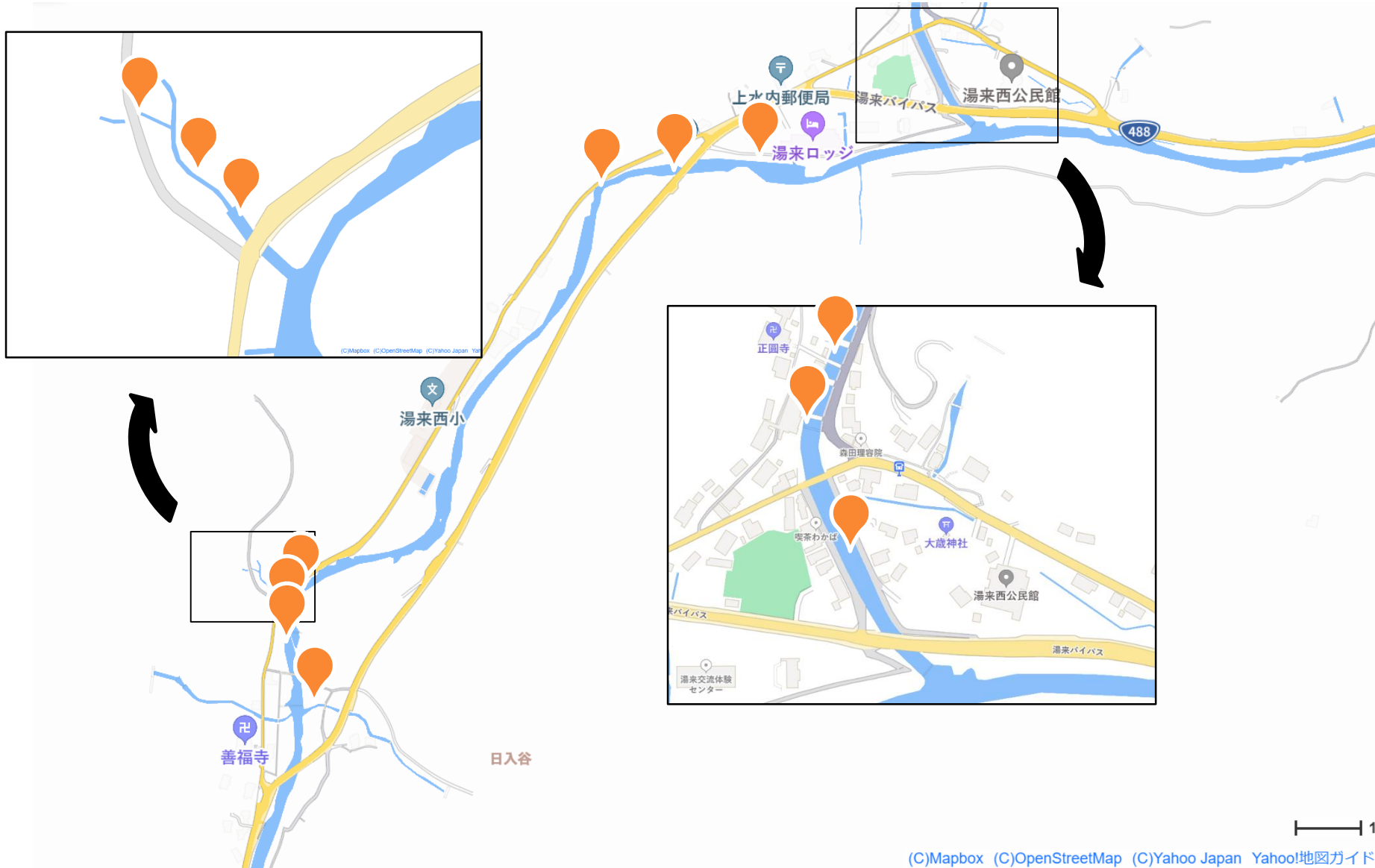
本年度の調査

日時：2022年 8月30日

場所：水内川本流 湯来ロッジ上流側



環境DNA調査



幼生調査

日時：2023年 2月27日

場所：水内川支流 日入谷



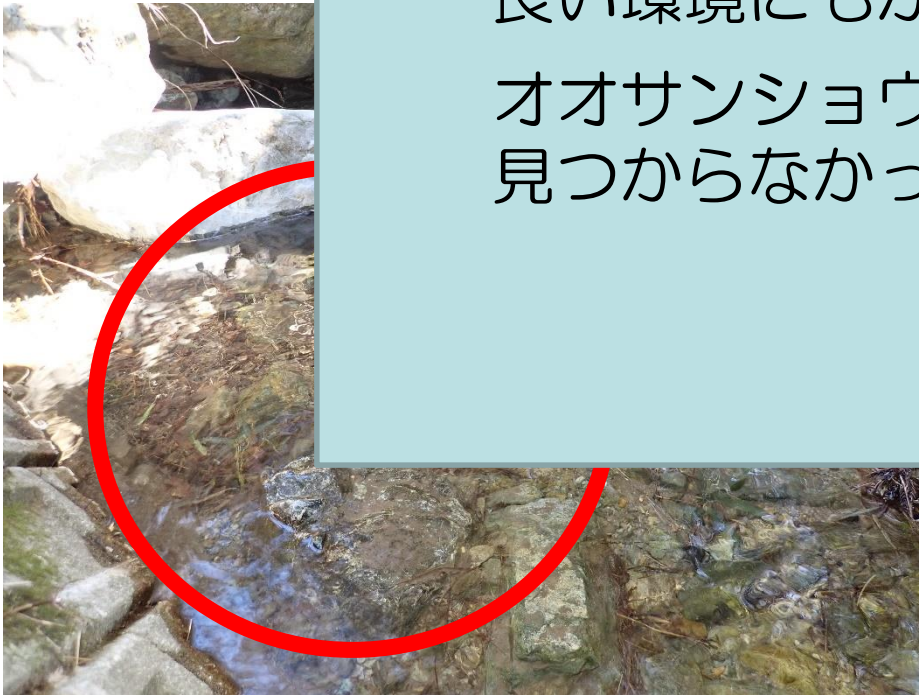
支流 日入谷の様子

幼生調査

幼生は年間はずから巣穴を離れて
落ち葉溜



良い環境にもかかわらず
オオサンショウウオの幼生は
見つからなかった



水内川に生息するオオサンショウウオの現状

水内川本流にはまだ多くのオオサンショウウオが生息
繁殖は行われているが繁殖巣穴は不明
バランスの良い個体群を形成



水内川に生息するオオサンショウウオの現状

昨年5月に中国に生息するチュウゴクオオサンショウウオとの交雑個体と同じ湯来町を流れる河川から見つかった



水内川で見つかるオオサンショウウオは全て在来個体

健全な河川 守るべき環境

教育普及

日時：2021年11月24日

題目：「川の王さまオオサンショウウオを守ること」

講師：清水則雄

参加者：湯来西小学校全校児童8名、校長、教職員、5名、湯来中学校校長



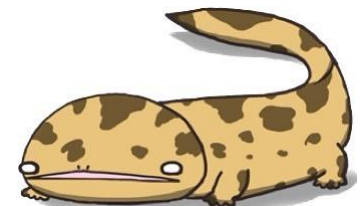
観察会の実施

オオサンショウウオを見つけられなかったのは悔しいけど、夜の川遊びは楽しかった

ライトがないと足元すら見えないが、ライトで足元を照らしながら歩くのは宝探しみたいで楽しい

暗くて不安だった。
今度こそ見つけたい！

オオサンショウウオ見つからず…



みえてきた課題

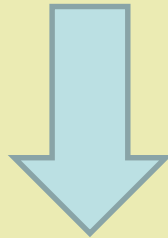
- ◆ 公開区と保護区の設定
- ◆ 相手は野生動物。さらに保護動物。
- ◆ 安全性

〈観光と保全の両面から持続可能なモデルへ〉

継続的な調査

(個体群の全体把握が重要)

モニターツアー
(教育普及)



収益の一部を
調査研究に充てる

市民・観光客

今後の展開（湯来町の一泊を磨き上げるために）

- **継続的な調査**（個体群の全体把握が重要）
 - ▷ 行政の今後のサポートが重要（ツアーの許認可）
 - ▷ 調査による保護区と公開区の設定
- 調査のランニングコストをツアーの一部からでる仕組みづくりなど**持続可能なシステム構築**（受益者負担）
 - ▷ 感動体験を共有しながらの仕組み作り
 - ▷ 安全性を担保する必要
 - ▷ オーバーユースを防ぐためのコースの設定や回数
- オオサンショウウオ以外の地域資源の発掘と組み合わせ
 - ▷ 湯来の自然を表現した水槽作り
 - ▷ 星空観察、ホタル、カジカガエルツアー など
 - ▷ フィールドミュージアム化
- 急ぎすぎないことが大切





